



# 麻布幼稚園だより 3月号

平成31年2月28日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 『今年度の「最後」が近付いてきて』

園長 大島 美知代

2月に行われた「こども会」には大勢ご来園いただき、ありがとうございました。保護者からいただいた感想文からは、「園児の育ちを感じた」「3学年を見て発達の差がよく分かった」「楽しそうに表現している姿を見て、自分も嬉しくなった」など1年間の成長を様々感じてくださったことも分かります。このように園全体で行う行事の運営に対して貴重なご意見、ご要望をいただきました。とてもありがたいことです。皆様の大切なお子様を預かっているのだから、皆様と、園児の成長や今後の改善点などを共有していきたいと思えます。様々なご感想、ご意見、ありがとうございました。

私は唯一、会場のプレイルームにいたので、園児たちの表現とそれを見守る保護者の温かい視線をすぐ側で感じていました。園児の動きが保護者に伝わり、保護者も園児と一緒に体や気持ちを動かし、見守っている空間でした。

担任の思いや願い、それを受け取り、演じる子どもたち。2月初旬からこの1、2週間の練習の様子と今日の活躍を見ていた私は、1学年の表現が終わるとホッと胸をなでおろすと同時に涙が出てきました。先生や友達とのつながり、1つの目標に向かってやり遂げようとする尊い取り組み、この場にずっと居させてもらったことに感謝し、本当にうれしい気持ちでいっぱいになりました。

さて、残すところ11日となった年長組、16日となった年中組と年少組。平成30年度も残りわずかとなりました。3月にも園児にとって思い出に残る、成長のために意味のある行事があります。それは、交通安全指導でもあり、4歳児が初めて企画するお別れ会でもあり、みんなで祝う「修了式」でもあります。また5歳児が修了した後となりますが、3歳児の散歩、4歳児と4年生の交流活動なども計画中です。短い3月ですが、修了、進級のためにつながる大切な活動を通して園児たちに、次のような姿になっているか確認していきます。

- 主体的に活動すること、
- 考えたり、工夫したりして粘り強く活動すること
- 丁寧に活動し、活動の意味が分かって行動できること
- 自分たちに関わってくれる人たちや仲間のありがたさを感じ、感謝の気持ちをもつこと
- 自分の役目、やらなくてはならないことを理解し、その役目を果たすこと
- 生活の見通しをもち、自分の目標を立て、それに向かってやり遂げること
- 年度末のため、自分たちの使う場や遊具を整頓し、きれいにして引き継ぐこと
- 友達との絆を感じ、楽しく遊ぶこと、などたくさんありますが、1学年ごとの育ちが大切です。一足飛びに成長することはありません。私たちも学期末を園児と共に、1つ1つ丁寧に、心と体が育つように指導していきます。

もうすぐ大切なお子様を保護者の皆様にお返しする時が来ます。「最後」とは寂しいですが、「最後」がないと「はじまり・出発」にはつながりません。すてきな「最後の時・出発の時」となるように修了式、終業式までお子様を預らせてください。